

鐵道敷設法案特別委員會會議事速記第十號

大正十一年三月一日(水曜日)午前十時二十五分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ鐵道敷設法案ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、斯波男爵

○男爵斯波三郎君 私ハ昨日鐵道大臣ニ廣軌問題ノ事ニ付マシテ御尋イタシタノデアリマスガ、是ハ單ニ將來我が國內ニ於テ輻湊スル所ノ旅客ヲ處分スルコト云フコトヲ御講ジニナル上、將來我が帝國ノ國策上ヨリシテ、モト大キキ見地ヨリシテ御考慮ニナル必要ハナイカト云フ事ヲ御尋イタシタ所ガ、大臣ハ内地ノ鐵道ヲ普及スルコト、及ビ改良ヲ並ビ行フト云フ事ガ根本策デアリ、斯ク云フ風ニ御答ニナツタデアリマス、尙ホ續キマシテ私ハ左様ナラバモ少シク具體的ニ私ノ申上ケル事ヲ御聽下サツテ、御答ヲ願ヒタイト思ヒマシテ、大陸トノ關係、軍事ノ關係、運輸經濟ノ關係トカ、ト云フコトヲチヨット申上ケマシタノデアリマスガ、最早昨日ハ時間ガゴザイマセヌデ、今日イタセト云フコトデゴザイマスカラ、今日ハ尙ホ其點ヲ敷衍イタシマシテ御聽キシタイト思フノデアリマス、此事ハ昨日モ、或委員カラ、鐵道網ヲ計畫スル上ニ於テ關係ハナイカラ、止メト云フヤウナコトモゴザイマシタケレドモ、私ハ此點ハ將來我が國內ニ鐵道網ヲ計畫スル上ニ於テ、先ヅ以テ政府ノ御意嚮ヲ十分承テ置カケレバナラス大キナ問題デアルト信ジマスガ故ニ、尙ホ重ネテ御聽キイタシタイノデアリマス、ソレデ單ニ大陸トノ關係、軍事ノ關係、運輸經濟ノ如何ト云フコトヲ只申上ゲタノデハ、御了解ニナラナカッタ故ニ、昨日ノ如キ御答ヲ得タカト考ヘマスカラ、少シク此意味合ハ如何ナモノトアルカト云フコトヲ極ク簡單ニ申述ベマシテ、之ニ對スル答ヲ得タイト考ヘマス、大陸トノ關係ト云フコトハ然ラバドウ云フコトヲ私ガ申上ゲタノカト申シマス、我ガ帝國ノ將來ヲ考ヘテ見レバ、支那、西比利亞、或ハ滿洲、朝鮮等ヲ通ジテ、我國ノ國策執行ノ上ニ、是非共經濟的關係ノ上ニ親密ナル關係ヲ結バナケレバナラスト云フコトハ是ハモウ一般識者ノ誰モ是認スルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、即チ彼ノ支那ノ如キ原料豐富ナ土地カラ我ハ原料ヲ得、我ハ之ヲ加工シテ我國ノ産業ヲ發達セシムルト云フ方策ヲ採ラナケレバナラスト云フコトハ、是ハモウ分リ切タ話アラウト思フ、又一方米國ノ關係ヲ考ヘテ見マスレバ、太平洋ヲ隔テ、米國ニ面シ、又極東大陸ヲ背後ニ負テ居ル我ガ帝國ハ、最早孤立ノ一孤島デアルト云フヤウナ考カラ、交通政策ニ付テモ將來ノ計畫ヲ立テル上ニ於テ、

左様ナ小サナ考デアリケナイノデアラウト私ハ信ズルノデアリマス、隨テ米國ニ對シ支那西比利亞ノ大陸ヲ背後ニ置イテ、此間ニ介在シテ居ル我國ハ、將來必ズヤ只今申上ゲタ經濟關係ノ上ニ於テ、大量ノ貨物運送ト云フコトガ必要ニナツテ來ル、又其衝ニ當ルベキ運命ヲ有シテ居ルト信ズルノデアリマス、斯ル見地カラ言ヒマスルト、單ニ我國ノ軌制問題、我國ノ交通問題ノ如キヲ解決致シマス上ニ於テハ、國內ニ於テ貨物旅客輻湊シテ居ルノヲ、ドウシテ處理スルカト云フ事ハ、單ニ國內の問題デ無クシテ、モウ少シク大キナ問題デアラウト信ズル、朝鮮ハ我國ノ新領土デアリ、又滿洲ノ經營ニモ當ルト云フヤウナ場合ニ、彼我運輸ノ機關ヲ統一シテ居ルコトト不統一ト云フコトト、之ヲ考ヘテ見マスレバ、是ハ統一シテ居ナケレバナラスト云フコトハ、誰モ考ヘルコトアラウト思フ、又統一シテ居ナカッタラバ、將來必ズ非常ナ不便ヲ來スト云フコトハ、是ハ明カナコトデアリマス、經濟關係ノ上ニ於テハ既ニ彼我交通機關ノ統一、又將來大貨物、大量ノ貨物ノ輸送ト云フモノヲ、我國ニ於テハ必ズヤ實現スルコトモ想像シナケレバナラスト思フ、又方面ガ變リマシテ軍事ノ關係ニ於テ、昨日モ申上ゲタノデアリマスガ、私ガ申ス軍事關係ト申スノハ、單ニ日本内地ニ於テ軍隊ヲ一地方カラ一地方ニ、國防ノ爲ニ送ル必要ガアリヤ否ヤ、昨年モ質問應答ノ中ニ起リマシタ、此線ハ國防上必要デアアル、地方ヲ何處カラ何處マデ送ラナケレバナラスト云フヤウナ見地カラ、鐵道ガ地方線ヲ必要トスルト云フ時代ハ、私ハ去テ居ルノデハナイカ、私ノ申上ケル軍事關係ト申スノハ、全國ヲ通ジテ大々的輸送ヲ行フヤウナ場合ヲ想像シテノ話デアリマス、單ニ一地方ノ警備ノ爲ニ兵ヲ送ルトカ云フヤウナ時代ハ、是ハモウ疾ニ去テ居ルモノト考ヘマス、我國ニ於テ鐵道ヲ利用シテ軍事輸送ヲスルト云フ場合ハ、是ハ頗ル大々的ノ事態ト私ハ豫想シテ申スノデアリマス、即チ全國ヲ通ジテ總動員ヲ行フト云フ事態ハ、私ハ豫定シテ申上ゲテ居ルノデアリマス、此必要ガ無ケレバ誠ニ結構ナコトデアリマスケレドモ、帝國ニ於テ軍備ヲ備ヘテ居ル以上ハ、斯ルコトモ考ヘナケレバナラスデアラウト考ヘル、サウ云フ風ニ此ノ局部的ノ軍事輸送ト云フモノデ無シニ、大々的ノ軍事輸送ト云フコトニ想到リマスルト云フト、現在ノ如ク或ハ當局ノ考ヘテ居ラレバガ如キ、現在ノ狹軌ヲ改良シテ、サウシテ其輸送力ヲ幾分か増加スルト云フダケナ位ナコトデ、此目的ガ達シ得ラレルモノデアアルヤ否ヤ

ト云フコトヲ私ハ疑フノデアリマス、須ク私ノ今申上ゲマシタヤウナ大キイ見地ノ軍事關係ト云フモノヲ考慮シテ見マスルト云フト、我ガ鐵道ノ交通機關ニ於テハ輸送力ニ於テモ總テニ、モット澤山ノ餘裕ガ無クチヤナラス、言フ換ヘテ申セバ頗ル彈力性ニ富ンデ居ルモノデナクチヤナラナイ、線路ノ輸送力ガ殆ド極度ニ達シテ居ルト云フヤウナモノヲ持ッテ居ルト云フコトハ、是ハ頗ル私ハ危險デアラウト考ヘル、一局部ノ地方カラ一地方ヘノ軍事輸送ト云フヤウナコトハ、是ハ起ル氣遣ヒハ殆ド私ハ無カラウト思ヒマス、私ノ申シマスルノハ全國ヲ通ジテ總動員デモ行ッタト云フヤウナ場合ヲ想到シテ、然ル場合ニ鐵道ハ平時ニ於テ頗ル彈力性ニ富ンダモノデ無クチヤナラス、現在ノヤウナ何年カノ後ニ直グニ限度ニ達スルト云フヤウナモノデハ、頗ル心細イコトデアラウト思フ、幾ラ一方ニ於テ軍備ノ擴張ヲシタ處デ、輸送機關ガ不十分デアアル、輸送機關ニ餘裕ガ無イト云フコトデアリマスルト云フト、是ハ軍ヲ持ッテ居ルト云フコトガ却ッテ害ヲナス結果ヲ來シハセヌカト斯ウ思フ、又軍事關係ノ一ツト致シマシテ、我ガ國內ニ於テ兵ヲ配置スルト云フヤウナ場合ハ、是ハ殆ド有り得ベカラザル場合ダラウト思フ、兵ヲ動かサト云フ場合ハ、是ハ大陸關係ニ於テノ話アラウト思フ、其場合ニ一ツ私ハ前ニ一度質問シタノデアリマスガ、當局大臣ノ御答ガハッキリ致シマセヌカラ、モウ一遍此處デ伺ヒマスガ、大陸ノ軌幅ト内地ノ軌幅ト、兵事ノ異ツテ居ルト云フ事ハ、非常ナ障害デアアル事ヲ考ヘルノデ、此點ニ付マシテ昨年陸軍大臣ノ御意見ヲ伺ヒマシタ處ガ、之ヲ統一スルノニ優ッタ事ハ無イ、併シ國內ニ於テ鐵道ヲ敷ク必要ノ方カラ云々ト云フ事デアリマシタガ、併シ私ハ此鐵道ヲ軍事ノ目的カラ考ヘタ場合ハ、ドウシテモ内地及ビ滿洲、其他ノ軌幅方同一デ無イト云フ事ハ、是ハ頗ル遺憾ナ事ト考ヘルノデ、此點ニ付マシテ、大事ナコトデアリマスカラ、當局大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、次ニ昨日モ申上ゲマシタ運輸經濟ノコトデアリマス、當局ノ方ハ、過日モ石丸次官カラ御話デアリマシタガ、軌間ヲ擴ゲタケデハ何ニモナラス、車輛ガ現在ノヤウナ車輛ハ狹軌デ使ヒ得ルノデアアルカラ、軌間ヲ變ヘタ所デソレハ大シク益ガナイ、成ルホドサウデアリマセウ、併シ軌間ノ變更ヲ致シマスルト、其變更ガ鐵道ニ於ケル輪轉機關ノ改良進步ノ端緒デアルト私ハ信ズル、ト云フノハ軌間ヲ變ヘタ其當時ニ於テハ、成ルホド現在用キテ居ル物ト同ジ物ヲ用キルノ

デアリマセウ、併シ我ガ鐵道省ニ於テハ、年々機關車ノ數百臺、車輛ノ數百臺ヲ新造シツ、アルノデアリマス、軌間ガ一度變リマスレバ、其後ニ於テ年々新造スル所ノモノハ、所謂廣軌ニ適スルベキ機關車モ出來、車輛モ出來ルノデアルト云フコトハ、現在費シツ、アル改良費デ以テ、改良費ノ中今後モ尙ホ此間モ御話ガアリマシタヤウニ、車輛ノ如キハ十分ナル、補充ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、當局モ御認メニナツテ居ルノデアリマス、軌幅ヲ變ヘタニ於テ現在ノモノハ出來ナイトシテモ、今後年々新造シテ行クモノハ其軌幅ニ適スルヤウナモノヲ拵ヘテト云フコトナレバ、現在歐洲諸國ニ於テ使テ居ル所謂普通廣軌ニ適スルヤウナ物ガ出來ルノデアリマス、是ニ於テ當局ハ何時デモ言ハレハレノデアリマスガ、我國ノ鐵道ハ狹軌ヲ以テシテ之ヲ改良シタナラバ、現在歐洲ニ於ケル様ナ、歐洲ノ普通廣軌ニ於ケルヤウナモノト、輸送力ハ略ボ匹敵スル、斯ウ云フコトヲ仰セラレレノデアリマスケレドモ、ソレハ成ホドサウデアリマシマセウケレドモ、ソレハ歐洲ノ方ノ場合ハ、即チ廣軌ノ方ノ場合ハ極容易ク運轉シツ、アル、然ニ我國ノ場合ハ、即チカト云フト、ソレニ追テ付ク爲ニ一生懸命ニヤツテ居ル、即チ餘裕ガナイト云フ事ニナル、ソレハ先程申上ゲタ軍事關係等ノ點カラ見マシテ甚ダ遺憾ニ感ズルノデアリマス、軌幅ヲ變ヘレバソレニ伴フテソレニ相應スル様ナ諸輪轉材料ヲ使ヘルナラバ、ドウ云フ結果ニナルカト云フ事ハ、是ハ今私ガ申述ベル必要ハナイ、運轉經濟ノ、運搬イハシマス數量ニ對シテ經濟、從事員ノ減少スル事ノ如キ、是ハ將來勞働問題ヲ講究スルト同時ニ、十分考ヘナケレバナラヌ問題デアリ、又電化ヲスルト云フ場合ニ付テハ、軌幅ノ廣イ方非常ニ都合ガ好イノデアリマス、速力ノ増加デアリ振動ノ減少デアリ、保線費ノ輕減デアリト云フヤウナ事ハ擧ゲテ數フベカラザル程ノ利益ガアルノデアリマス、以上申述ベマシタ如キ大陸トノ經濟關係、軍事關係、將來ノ鐵道ノ運輸經濟ノ如キ問題、斯ル大切ノ問題ニ觸レズシテカラニ、單ニ現在幅廣シツ、アル所ノ貨物ヲノミ捌クト云フコトノ目的ニ向ツテ汲々トサレテ居リマシテ、大局ヲ顧ミズシテ輕々ニ將來ノ交通政策ヲ極メルト云フコトハ、是ハ如何ナルモノデアアルカ疑ヒナキヲ得ナイノデアリマス、此點ハ何故此ニ私ハ之ヲ持出シテ長シク御當局ノ御意見ヲ承ハルノデアアルカト申シマスト云フト、目下政府ニ於テ企圖サレテ居ルヤウナ斯ル鐵道網ヲ、六千何百哩ト云フヤウナ鐵道網ヲ御拵ヘニナル御心ガナイト云フナラバ別問題デアリマスガ、愈々拵ヘル積リテ御計畫ニナルノナラバ、是ガ若シ出來タラ私ノ先程カラ申上ゲタヤウナコトヲヤラウト思フテモ、是ハ殆ド不可能ニ陥ルノデアリナイカ、陥ルデアリマセウ、斯ル大政策ヲ

企圖スル上ニ、其端緒トシテ先ヅ以テ軌幅改善ヲナサルノガ必要デアリナイカ、鐵道網ヲ編成ナサル上ニ於テ又先程カラ申上ゲマスヤウニ、國家的見地カラノ對策ヲ實行スル上ニ於テモ、軌幅ヲ第一ニ變ヘルコトガ必要、ハナカウカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、是ハ度々私ハ御尋ネシタ様ニ記憶イタシマスガ、何時デモ當局ノ御答ハソレヨリモ地方ニ延バスノガ必要デアアル、成ホド地方開發ノ爲ニ網ヲ地方ニ延バスト云フ事ニ付テハ、私モ贊成デアリマス、併ナガラ今申シタヤウナ程度ニ於テ軌幅ヲ變更スルト云フコトハ、將來國內ニ線路ヲ延長スル上ニ於テ、然ラバドレ位影響ガアルト云フコトヲ考ヘテ見タラ宜カラウト思ヒマス、之ニ付テ當局ノ御意見ヲ伺フコトモアリマスケレドモ、イツモ明確ナ御答ヲ得マセヌガ、假ニ私ノ今申上ゲタヤウナ軌幅ヲ改良スルト云フコトニスレバ、今現在ノ六千何百哩カノ軌幅ヲ改良スレバ、或ハ一時ハ接合線等ニ於テ幾ラカ混雜ヲ來スデアリマセウ、來スデアリマセウケレドモ、國家ノ永遠ノ策トシテ是等ノ如キハ忍ブベキハ忍バナケレバナラヌト考ヘマス、而シテ其費用ハドウカ、費用ハドウカト考ヘレバ、何時デモ莫大ナ費用ガ要ルト仰セラレルノデスケレドモ、是ハ少シ誤解サレテ居ルト思フ、先年此廣軌政策調査會ニ於テ調ベタヤウナ十何億ト云フヤウナ費用ハ、是ハ隧道ノ改築、車輛モ同時ニ改造シ、サウシテ軌幅ヲ擴ゲルト云フ案デアリマスケレドモ、只今私ノ申上ゲタノハ、將來ノ企圖ヲ實現スル上ノ準備トシテ、先ヅ以テ一軌幅ヲ變ヘル、軌幅變更ト云フダケニシテ考ヘマスレバ、私ハ大シク費用デアリナイト考ヘルノデアリマス、是ハ例ニハナリマセウケレドモ、軌幅ヲ變ヘルト云フコトハ如何ニモ面倒ノヤウニ仰セラレマスケレドモ、一ツノ例トシテ近頃私ノ聞及マスケレドモ、兎ニ角軌幅ヲ變ヘルト云フコトニ於テ似タヤウナ工事デアリマス、長春カラ哈爾濱、即チ露西亞ノ廣イ「ダージ」ヲ、日本ノヂヤナイ、標準軌間ノ四呎八吋半ニスルト云フ工事ヲ、滿鐵現存ヤツテ居リマス、企テ、居ルヤウデアリマス、長春哈爾濱間ハ百五十哩ト云フ話デアリマス、ソレニ對シテ十三萬圓ト云フ豫算ヲシテ、サウシテ當局者ノ或者ニ聞イタノデアリマスガ、六時間間デヤツテ見ルト云フテ居ル、六時間間デモ出來マスマイガ、要スルニ十三萬圓ト云フコトニナル、是ダケデ適當ト申スノデアリマセヌガ、軌間ノ改良ト云フコトガ、如何ニモ莫大ナ費用ヲ要スルト云フコトニ御說明ガアリマスケレドモ、左程ノモノデアリナイカラウカト考ヘル、比例ガ必ズ當ツテ居ルカドウカ分リマセヌガ、是ハ數ノ「オルダー」ヲ申上ゲタニ過ギナイ、斯ノ如キ譯デアアルニモ拘ラズ、政府ハ矢張國內ニ於テ澤山線ヲ敷キ、

サウシテ將來ノ交通機關ニ充テルノデアルト云フ御意見ニ付テハ、尙ホ一度御所信ノアル所ヲ十分承テ置キタイト思フノハ、斯ル大キナ鐵道網ニ對シテ、我々ガ協賛ヲスルシナイ云フ點ニ於テ、大ナル關係ヲ有シマスカラ、尙ホ一應大臣カラ明確ナル御答ヲ得テ置キタイト考ヘマス

○國務大臣(元田肇君) 専門ニ亙ツタ事ハ、私ヨリ政府委員ガ詳シカラウト思ヒマスガ、只今ノ御尋ニ對シマシテ、大ナル見地カラ見テ國策ヲ立テルガ宜クナイカト云フ事デアリマシテ、只今ノ御意見ハ昨年ノ敷設法案委員會ニ於キマシテ、承リマシタ、遂ニ陸軍大臣マデ出テ御說明申上ゲマシタ、ソレヨリ以上ハ意見ノ相違ニ歸着スルト思ヒマス、只今御述ベニナツタコトモ、單純ニ「イエス」「ノー」ト云フヤウナコトデ答ヘラレナイ、詰リ御意見ノアル所ハ詳シク拜承イタシマシタガ、當局ノ意見ハ違ヒマス、之ヲ此所デ一々意見ノ相違ヲ申上ゲルト云フト、寧ロ討論ニ屬スルカト存ジマス、其點ハ省キタイト存ジマス、當局ハ内地ニ於ケル鐵道ヲ、今日ノ程度デハ足りマセヌカラシテ、普及サセルト云フ一ツノ根本政策ヲ以テ、之ヲ必要ト認メテ、改良ト並ビ行ツテ行ク、其改良ニ付テハ昨日モ既ニ續々申上ゲマシタ、ソレカラ軍事上ノ見地ニ於テハ、今日ハ内地ハ何モ軍隊ヲ動かス必要ヲ認メヌト云フ御説ガアリマス、當局デハ泰平無事ノ今日ニ於キマシテモ、軍隊ハ萬一ノ時ニハ十分ニ各方面ニ出動イタサセルヤウニシテ置クノガ大切デアリ、斯ウ云フ意見ヲ有ツテ居ル、支那ニ對スル經濟的發展ハ益々滋クナツテ來ル、其見地ニ付テ考ヘネバナラヌ、ソレハ考ヘテ居リマス、居リマスガ、内地ノ普及ト云フ事ハ先ヅ以テ必要ナ事デアリマス、支那方面ニ對シマシテハ、貿易上益々發展シテ行カナケレバナリマセヌ、ケレドモソレハ内地ノ線路ヲ廣軌ニシナケレバ發達セヌト云フ事ニハ認メテ居リマセヌ、滿洲朝鮮ニ於ケル鐵道ノ改良ハ、又此上ニ努メナケレバナラヌ、滿洲朝鮮ニ於ケル鐵道ト日本内地ノ鐵道ノ軌間ヲ同一ニシナケレバナラヌ、ソレハ今日ノ最モ喫緊ノ急ニ追ツテ居ルモノトハ認メテ居リマセヌ、是カラ先キハ皆意見ノ相違ニナリマス、デ軍事上ノ事柄ナドハ私ノ素人カラ申上ナイデモ、昨年既ニ陸軍大臣ガ申上ゲマシタ、ソレヲ御了解下スツテ宜シカラウト思フ、内地ニ於テノ國防ト云フコトニ付マシテ、防禦ニ必要ナル線路ヲ拵ヘト云フコトハ、洵ニ今日必要ト認メテ居リマス、併シ又内地ニ於テ軌條ノ變々トモノヲ今日之ヲ探ルト云フコトハ、寧ロ線路ヲ索ルト云フコトニナリ、決シテ利益ノモノトハ認メテ居リマセヌ、ソレカラ滿洲方面ニ亙ツテ大兵ヲ動かサト云フ御言葉デアリマスガ、日本ノ根本方針ト致シマシテ、今日デハ侵略的ノ行動ヲ執ラウト云フ何ニハナツテ居リマセヌ、ソレ故ニ今日ノ大

陸ノ鐵道ト云フモノヲ、此上ニモ改良ヲ加ヘテ行ケバソレ
デ宜シ、内地ノ鐵道ヲ同ジ軌條ニスル必要ハ、内地ノ各方
面ニ必要ナル鐵道ヲ開キ交通ヲ密ニシ、開發ヲ爲シ、産業ノ
發達ヲ期スト云フ上ニ於テ、又萬一ノ國防ノ上ニ於テ充實
セシメルト云フコトハ、ソレヨリ以上ノ必要ナルコトヲ認
メテ居ルノデアリマス、何故ニ認メルカト云フ御質問ニ
ナリマス、是ハ議論ニ耳ルコトデアリマス、差控ヘマ
スルガ、當局ハ左様ニ認メテ居ル、ソレドモ御判斷ヲ願
フヨリ外ナト思フ

○男爵斯波忠三郎君 只今ノ御答辯ハ何デモ彼デモ意見ノ
相違デアラカラ、是レ以上述ベラレナイト云フコトデアリ
マスケレドモ、私御尋致シマシタノハ單ニ輸送力云々ト云
フ事ノミノ見地デナク、モウ少シ私ノ言葉申セバ、大キナ
眼カラ見テ大陸トノ經濟關係、ソレカラ軍事的關係デア
ルカ、或ハ將來ノ運轉經濟ノ上カラ御考慮ニナル必要ハナ
イカト云フコト、ソレガナイト仰シタルナラバ、ソレ迄ノコ
トデアリマス、意見ノ相違デアリマス、併シソレナ
ラバ甚ダ遺憾ナル交通政策ノ目論見デアルト思フ、ソレ以
上ハ申上ゲナイ、ソレ以上ハ意見ノ違ヒデアルト仰セラ
ルナラバ致シ方ガナイコトデアリマス、ケレドモ、私ハ甚ダ
遺憾ニ存ズルノデアリマス、尙ホ次ニ昨日内田君カラ石丸
次官ニ御質問ガアリマシテ、一昨日石丸次官ガ現在ノ狹
軌ヲ改良スルト云フ七箇條カノ案ガ説明サレタノデアリマ
ス、ソレニ對シテ昨日内田君ハドウ云フ程度ニ進ミツツア
ルノデアラカ、又ドレ位ノ經費ヲ要スルノデアラカト云フ
ヤウナ御質問デアリマシタガ、尙ホソレニ付テ少シク伺
ヒタイト思ヒマス、御許シ下サイマスカ、如何デアリマ
スカ

○國務大臣(元田肇君) 成ベク簡單ニ願ヒタイ
○男爵斯波忠三郎君 石丸次官ノ御説明ヲ承リマス、複
線ハ目下全哩數ノ六分ノ一デアアッテ今後之ヲ益々増加スル
積リデアルト云フヤウナコトニ私ハ拜承シマシタガ、果シ
テドノ位ノモノヲ復線ト爲ス御見込デアアルノデアラカ、又
イツ頃マデニ此復線ノ工事を完成ナサル御積リデアアルカ、又
ソレニ對スル費用ノドノ位ノ部分ガ、十年計畫ノ中ニ御計
上ニナッテ居ルカト云フコトヲ、チヨット伺ヒマス

○政府委員(石丸重美君) 此御答ハ昨日申上ゲタ積リデア
リマス、斯波君ハ御聽キニナリマセヌデゴザイマシタカ、
是ハ豫テ既定ノ計畫ガゴザイマシテ只今御話ノ十年計畫ト
申シマスガ、改良ノ部分ハ七年ノ計畫ヲ立テデアリマス、大
正九年ニ作リマシテ其計畫ノコトハ昨日申上ゲマシタ、是
ハ年々豫算極メテ居リマスカラ、豫算デモ御承知遊シテ居
ルコトト思ヒマス、ソレカラ尙ホ後ノ改良ニ對シマシテハ、

只今設計中デアアルト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマ
ス、ソレカラ六分ノ一復線ト申シマシタカ……
○男爵斯波忠三郎君 兎ニ角六千哩ノ中千哩……
○政府委員(石丸重美君) 千哩ニ足リマセヌ、是ハ國有鐵
道六千三百哩ノ中デ、復線ニナッテ居リマスノハ約九百哩ト
其積リデ申上ゲマシタ、マダ私設線ノ方ハ申上ゲテ居ラス
ソレデ若シ御必要デゴザイマスレバ、工務局長カラ委シク
申上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、是ハドウゾ現ニ表ガアリ
マスカラ、ソレヲ作ッテ差上ゲルコトニ致シマス

○男爵斯波忠三郎君 ソレデヤ斯ウ云フコトニ願タラ大
變結構ト存ジマス、マダ外ニモ澤山ソレニ付テ伺ヒタイコ
トガゴザイマスガ、一緒ニ纏メテ御説明ヲ願ヒタイト思
ヒマス、今日デナクテモ宜シウゴザイマス、既ニ豫算ニ出テ居
リマセウケレドモ、此委員會ニ於テ此間御聽キシタヤウナ
コトニ付テ、一々豫算ヲ引ッ線返シテ見ルト云フコトニナル
シテ、表ナリ何ナリ簡單ナモノヲ下スツテモ宜シウゴザイマ
スガ、ソレニ付テ御當局ノ御説明ヲ伺ッたらバ、大變結構
ニ思ヒマス、今申シタ問題ト、ソレカラ次ノ問題ハ自動信號
機ノ採用範圍ヲ伺ヒマシタ、此間次官ノ御説明ニ依ルト、單
線ノ自動信號機ヲ用ヒタシタ、單線五百十回、復線百三回、
斯ウ云フコトデアリマス、是ハドノ範圍マデノ線路ニ自動信
號機ヲ御用ヒニナッテ、サウシテ今ノ回數ヲ斯ウ云フヤウナ
風ニ増加ナスツタナラバ、現在ヨリハ凡ソドノ位ノ數量……
貨物及ビ旅客ノ運搬ニ於テ増シガ來ルト云フヤウナ事ヲ、
大體ノ數字デ宜シウゴザイマス、若シ御分リニナレバ……
ソレカラ車輛ヲ改造スルト云フ御話デアリマス、機關車ノ
如キハ十分ナル牽引力ヲ有スル三八式トカ云フモノヲ用ヒ
ラレルト云フコトデアリマスガ、若シ出來得ベクバサウ云
フヤウナ強度ノ機關車ヲ用ユルト云フ場合ニ於テ、果シテ
現在ノ線路ノ保存ハ如何ナモノデアアルカ、又震動ノ程度等
ニ於テチヨットモ差支ナイモノデアアルカ、出來得ベクバ何カ是
ハ數字等ニ於テ御示シガ出來レバ、示シテ項キタイト思
ヒマス、是ハムツカシイカモ知レマセヌガ——ソレカラ勾
配改造ト云フコトヲ昨日御話ガアリマシタ、是ハ察シマス
ルニ、現在熱海線ノ改良工事ノ如キハ、箱根ノ百四十分ノ一
ヲナクスル爲メニ、ア、云フヤウナ工事ヲシタモノカト考
ヘマス、然ニ此今度御計畫ニナリマシタ此鐵道網ノ線路中
ヲ見テ見マス、此間一寸試驗表ヲ御拜見イタシタノデ
アリマス、委シクハ拜見イタシテ居リマセヌケレドモ、中
ハ三十分ノ一見タイナヤウナモノモ澤山出來テ居ル、幹線
ノ補充ヲ爲スベキ線ノ中デモアッタヤウニ私ハ見受ケタ
デアリマス、サウ致シマス、果シテ此度御計畫ニナッ

此鐵道網中ノ線路ノ如キハ、勾配ノ關係ニ於テ幹線ノ役ヲ
増スヤウナ機能ヲ發揮スルヤ否ヤ、私ハ少シ疑問ト考ヘル
ノデアリマス、其點モ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカ
ラ次官ノ御説明ノ中ニ、水陸聯絡、海陸運輸聯絡ノ整理ト云
フコトモアリマシタ、是ハ至極結構ナコトデゴザイマス、是
非ヤテ頂キタイト思ヒマスガ、此點ハ今計畫中デアアルト云
フヤウナ昨日御答デアリマシタケレドモ、ソレニ付テ大體
ノ方針及ビドノ位ノ經費ヲ要スルノデアアルカト云フコト
ガ、御分リナラバ知ラシテ頂キタイ、又十年計畫中ニ今ノ
此條項ニ適スルヤウナモノハ凡ソドノ位アルカ、是ハ豫算
ヲ調ベテ見レバ分ルト仰シタルカ知レマセヌガ、大體ノ數
デ宜シウゴザイマス、是ヲ示シテ頂キタイ、ソレカラ電
力ノ應用、即チ電化ノ計畫ニ對シテ、當局ノ御考デハ今度下
ノ位ノ間ニ凡ソドノ位ノ計畫ヲスルノデアアルカ、又動力問
題ハドウ解決スルノデアアルカト云フコトモ、同時ニ伺ヒタ
イト思ヒマス、此コトハ或ハ御調ベヲ要スルモノガアレバ
今日デナクテモ宜シウゴザイマス、伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(石丸重美君) 只今ノ御質問ノ箇條ニ付テハ
中ニハ出來マセヌモノガゴザイマスガ、中ニハ當局デ今設計
イタシテ居ルモノモゴザイマスガ、是ハ斯波君ニ御相談デ
ゴザイマスガ、此線路網ヲ決メマスルニ付テ、餘リ直接ニ關
係ノナイヤウニゴザイマス、如何デゴザイマス、少シ表
ナドノ委シイモノヲ他日差上ルコトニ致シマス、如何
デゴザイマセウ、是ハ既定ノモノハゴザイマス、ソレ
ハイツデモ今晩デモ寫シテ差上ゲマスガ、將來ニ對スルモ
ノヤ今計畫中ノモノモゴザイマス、又中ニハ御話ヲスレバ、
電化ノ如キハ是マデニ隨時御話シモシテアリマスガ、此議
會ニ間ニ合フト云フコトハムツカシイカト思ヒマス、出來
ルダケノモノハ差上ゲル積リデ居リマスガ、是ハ御相談申
上ゲマス

貴族院鐵道敷設法案特別委員會議事速記第十號 大正十一年三月一日

○男爵斯波忠三郎君 委シイノハ跡デ見セテヤルト云フ御
話デアリマシタ、大變有難ク存ジマスガ、實ハ一昨日ノ次官
ノ御説明ハ、廣軌ニセヌデモ、狹軌デアッテコレノコト
ヲヤレバ十分間ニ合フト云フコトナンデゴザイマス、
目下此委員會ニ於テハ廣軌問題ニ付テ質問應答ヲ交換サレ
テ居リマスカラ、我々ガ將來次官ノ説明サレル如ク、成程斯
ル計畫デアッテ行ケバ、廣軌デナクテモ當局ノ期待セラレテ
居ルヤウナモノデ、成程間ニ合フデアラウト云フヤウナ觀
念モ付マス、又同時ニ此鐵道網ニハ關係ガナイト仰セ
ニナリマスケレドモ、是等ノコトヲヤルニ付テハ、目下此十
年計畫ノ豫算ヨリモ、尙ホ多大ナル費用ヲ要スルモノデヤ
ナイカト考ヘマスニ依ッテ、御尋スルノデアリマス、ト云フ
ノハ此間カラノ經濟問題ノ部分ニ於テ、質問應答ヲ重ネタ

ヤウニ、十年計畫ハ實際財政上カラムゾカシクハナイカ、過日モ平井博士ガ御出デニナリマシテ、經費ニ不足ヲ生ズルト云フヤウナ御説モアツタノデアリマス、其上ニ過日次官ノ仰セラレタヤウニ、改良ヲ行ナツテ行ク上ニ於テ、尙ホ澤山ノ費用ヲ要スルモノデヤナイカ、サウナレバ鐵道網ノ計畫ノ如キハ、是ハナカク、容易ニ出來ベキモノデハナイト云フコトニ歸着スルノデアリマスガ、此議ヲ議スルニ當リマシテ、願クハ大體デモ宜シウゴザイマスカラ、承ハルコトガ出來マスレバ非常ニ便利デアルト考ヘマスノデ願フノデアリマス、併シ出來マセヌケレバ仕方モアリマセヌガ、若シ出來マスナラバ極ク簡單ナ表ニデモシテ下スツテハ、如何カト考ヘマス

○政府委員(石丸重美君) 如何デゴザイマセウカ、此間カラ阪谷サン、ソレカラ山ノ内サンカラ御注文ガゴザイマシテ、今ノ十八年マデノ計畫、尙ホソレカラ各線路ノ經濟ノ表ヲ差上ゲルコトニシテ今作り居リマス、ソレヲ御覽下サレバ、如何ナル費用デ以テドウシテ行クト云フコトハ御分リニナラウト思ヒマス、只今斯波サンノ御要求ハ詰リサウ云フモノヲ具體的ニ共仕事ノ上カラ判断下サル斯ウ云フコトダラウト思フテ居リマスガ、併シソレハ今其表ヲ御手許ニ上ゲタラ、ソレヲ大體經濟上ノコトハ能ク分リハシナイカト、斯ウ思フノデアリマス、マア成ルダケ御了解ヲ早く得タイト思ヒマスカラ、ソレデ如何デゴザイマスカ

○男爵斯波忠三郎君 私ハ何モ態、此會ヲ引張ラウトカ、何トカ云フヤウナサウ云フ意嚮ハ毛頭ナイノデアリマスガ、只今次官ノ仰セラレタ所ニ依リマスルト、過日阪谷男、山ノ内君カラシテ御請求ニナツタモノハ今日下調製中デアリナラ、ソレデモ是ハ結構ニ考ヘマス、併ナガラ先達デ次官ノ仰セニナリマシタヤウナコトハ十年計畫以上ニマダ多クアルノデアアラウト思ヒマス、アノ中ニ何モ載ツテ居ナイモノガ……ソレヲ實行スルト云フ御考デゴザイマスルト、十年計畫以上ニ尙ホ多大ノモノガ要リハセヌカト思フノデアリマスガ、アノ計畫ヲヤルニ付テハ昨日内田君カラ御尋ニナツタヤウニ凡ソドノ位要ルカト云フ大體ノ觀念ヲ得タイト云フ考カラ若シ御分リニナツテ居ルナラ、大體ノ數字デ宜シウゴザイマス、今後何億圓位ノ費用ガ要ルト云フ位ノコトデ結構ナシデアリマス

○政府委員(石丸重美君) ソレハ昨日モ申上ゲタ通りニドウモ分リマセヌノデス、只今作りツツアリマスケレドモ只今御話ヲスルト云フコトハ到底ムツカシイト思ヒマス
○中村是公君 私ハ今ノ御答デチヨット承テ見タイノデスガ、金高方出マセヌケレバ、次官チヨット伺ヒタイノデスガ、例ヘバ電化ハ凡ソドコカラドコマデ位デアルカ、改良工事

ナラバ、其他ノ改良工事デ操車、ヤード、ハドコ、ニ殖ストカ、停車場ハドウ云フ風ニヤルトカ、サウ云フ仕事ノ大體デモ御話ヲ願フ譯ニ參リマセヌカ
○政府委員(石丸重美君) ソレモ只今設計中デゴザイマシテ、今此處デ申上ゲルコトハ到底不可能ダラウト思ヒマス
○委員長(伯爵林博太郎君) 中村君ニ御相談イタシマセガ、先程ノ……

○中村是公君 アレハ宜シウゴザイマス
○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ如何デゴザイマセウ、是カラ第三ノ問題ニ這入りマシテ、御質問ヲ願ヒタイ、御異議ガゴザイマセヌケレバ、國有當時ノ方針ニ抵觸シナイカト云フ問題ニ移リマス

○男爵阪谷芳郎君 此國有ノコトニ付マシテハ此前ニ私ハ自分ガ其事ニ當リマシタモノデスカラ、當リマシタ限リ其當時ノ事情ヲ申上ゲテ置キマス、其後自分ハ政府ノ役人ヲ罷メマシタカラ、其後ノ事情ニ付マシテハ餘リ精シク存ジマセヌ、併シ鐵道ヲ國有ト致シタ時ノ精神ハ今日ニ於テモ尙ホ存立イタシテ居ルコトト信ジテ居リマス、即チ其當時ニ於テ政府ハ鐵道ノ幹線ノミヲ國有トシタ地方ノ鐵道ハ私設ニ許ス、斯ウ云フヤウナ方針ニナツテ居リマシタ、ソレカラ桂内閣ニ於テ鐵道特別會計法ト云フモノヲ修正セラレテ、鐵道會計ノ獨立ヲ害セザル範圍内ニ於テハ鐵道ヲ延長、改良シテ行クト云フヤウナ方針ヲ立テラレタト考ヘテ居リマス、然ルニ此度御提出ニナリマシタ鐵道ノ線路ハ或ハ國有トスルノ必要ノナイモノガアリハシナイカ、即チ此地方ノ鐵道ノ敷設ヲモ許スト云フヤウナ簡條ガアリマスルト、既ニ政府ニ於テモ地方鐵道トシテモ宜イト云フヤウナコトニ認メラレテ居ルヤウニ考ヘマス、サウスルト必ズシモ國家ガ之ヲ所有シナケレバナラヌト云フ必要ガナイヤウニ考ヘル、國家トシテハ國有當時ノ方針ニ依レバ、最モ大切ナル幹線ヲ完備改良シテ他ハ地方鐵道ノ發達ヲ待ツ、即チ輕便鐵道等モ其趣意デ補助セラレルト云フ意味デアラウト考ヘルトデアリマスデ此度ノ百四十九本ヲ之ニ加ヘルト云フコトガ鐵道國有ヲ三十九年ニ實施セラレタ方針ト低觸スルヤウニチヨット思ハレマス、私ハ前ニ御斷リ申シタ如クニ四十一年後ハ彼人ヲ罷メテ居リマセヌカラ、或ハ私ノ申シタ所ガ其後變テ居ルノカモ分リマセヌカ、此際鐵道國有ニ付テノ方針、即チ精神ノアル所ヲ明ニシテ置キタイト考ヘマス、一應御説明ヲ願ヒマス

○國務大臣(元田肇君) 私カラチヨット御答ヲ致シマセウ、只今ノ御質問、先日六項ニ亙テノ御質問ニ這入ル前ニ問題トナリマシテ、御答ヲ致シテアリマス、阪谷男爵ノ仰セニハ國有法ヲ設ケタ時ニハ幹線ノミニ限テ居タノデアアル、斯

ウ云フ仰セデアリマスルガ、第一條ニハ「一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トス」ト云フ原則ガ掲ゲテアリマシテ、但シ地方交通ノ目的トスル鐵道ハ此限リニアラス」トアルノハ、地方鐵道ニモ許ス事アルベシ、斯ウ云フ特殊ノ事情ノアル者ハ地方鐵道モ許ス事アル、イヤ、サウデナイト云フ斯ウ云フ二ツノ見解ニナツテ居ルノデアリマスガ、當時此法案ヲ提出セラレタ時ノ御趣旨ハ阪谷男爵ノ仰セラレルヤウナ解釋ヲ取ツテ御居デニナルモノモアリマセウ、又之ヲ協賛シタモノニ付テハサウデナイモノモアリマセウ、從テ今日ハ如何ニ之ヲ解釋スルカト申シマセヌレバ、法案ノ上、爾後ノ歴史ニ付テ此意味ヲ解釋スルノ外ハナイト存ジマス、而シテ歴史ノ上ニ於テ先ヅ申上ゲマセヌレバ、幹線ノミニ限ルト云フ意味ニハ解釋致シテ居リマセヌ、澤山其後ニ鐵道ガ敷設ニナツテ、議會ノ御協賛モ得テ居ルモノガ、幹線デナイモノガ多クアリマスル、幹線デナイモノヲ澤山ニ國有トシテ來テ居ル、歴史ニ鑑ミマスレバ、此法條ナルモノハ矢張今回ノ敷設法ニ記載シタルガ如ク、地方ノ特殊ノ關係ノモハ、地方鐵道ニ許スコトヲ得ト云フ意味ニ解釋スルノガ穩當デアルト、政府ハ解釋イタシテ居リマス、唯私ガ此所デ申上ゲルダケデアリマセヌ、此點ニ付テノ研究ハ一通リ遂ゲマシテ左様ニ爾後ノ……今日マデノ經過ニ付マシテ、立法機關ハ如何ニ之ヲ解釋シテ居ルカト云フト、幹線ノミニ限テ國有トスル意味デハナイ、國有トスルコトヲ原則ト致シテ、特ニ地方ノ交通ノ目的トスルモノハ地方鐵道ニ許スコトヲ得ルト云フ意味デアルト云フコトニ解釋ヲ致シテ居リマス、鐵道省ノ歴史モ先日申上ゲマシタガ、爾來ノ鐵道ニ付マシテモ、御協賛ヲ得マシタ所ノ鐵道ハ、國有鐵道ト致シマシテ、決シテ幹線ノミデアリマセヌ、幾多例ヲ有ツテ居リマスル、此歴史ヲ以テ解釋ヲ致スノガ、今日此法ヲ解釋スル至當ノ解釋法デアルト信ズル、政府ハ左様ニ解釋イタシテ居リマス、低觸ハ致シテ居ラヌト云フコトニ御願致シマス

○男爵阪谷芳郎君 サウスルト鐵道大臣ノ御考デハ、鐵道ノ國有ニハ幹線支線ノ國別ヲセヌ、有ラユル全國ノ鐵道ヲ皆國有ニシマシテ仕舞フノダト云フ意味ヲ、御有チニナルノデアリマスルカ、私ノ申シマシタノハ國有當時ノ方針ト云フコトハ、鐵道ハ殘ラズ國有ダト云フ方針ハ採ラナクニスルト云フ方針ヲ立テマシタ、ソコデ成程サウ云フ方針ヲ立テマシタケレドモ、或ハ其買收當時ニ於キマシテモ、日本鐵道ヲ買收スルニ、日本鐵道ノ有テ居ル支線ヲ殘シテ置クノハイカスト云フヤウナコトデ、ソレデ無論其當時見テ以テ幹線デハナイケレドモ、大キナ會社ヲ買收スルノデアアルカ

○男爵阪谷芳郎君 サウスルト鐵道大臣ノ御考デハ、鐵道ノ國有ニハ幹線支線ノ國別ヲセヌ、有ラユル全國ノ鐵道ヲ皆國有ニシマシテ仕舞フノダト云フ意味ヲ、御有チニナルノデアリマスルカ、私ノ申シマシタノハ國有當時ノ方針ト云フコトハ、鐵道ハ殘ラズ國有ダト云フ方針ハ採ラナクニスルト云フ方針ヲ立テマシタ、ソコデ成程サウ云フ方針ヲ立テマシタケレドモ、或ハ其買收當時ニ於キマシテモ、日本鐵道ヲ買收スルニ、日本鐵道ノ有テ居ル支線ヲ殘シテ置クノハイカスト云フヤウナコトデ、ソレデ無論其當時見テ以テ幹線デハナイケレドモ、大キナ會社ヲ買收スルノデアアルカ

ラ、一部ヲ殘スト云フコトハ出來ヌ爲メニ、支線モヤツタ
云フ、サウ云フヤウナ小サイ取除ケハ固ヨリ差支ナイコト
デアリマスルガ、方針トシテ荷モ鐵道デアレバ皆國有ニス
ルノタト云フヤウナ御考ニモ取レル、サウデアアルト云フト、
或ル時機方來レバ私設鐵道ト云フモノハ一本モナクナルト
云フ、極端ニ申セバ解釋ニモナリマスルガ、サウ云フ精神デ
今ノ大臣ハ御出ニナルノデアリマスルカ、其政府ノ鐵道方
針ヲ……國有方針ノアリマスル所ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(元田肇君) 私ハ此鐵道國有法ニ抵觸ガナイカ
ト云フ意味ニ今解シテ御答ヲ致シタ、總テ國有ニシテ仕舞
フカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ矢張私ノ解釋スルヤ
ウニ、鐵道國有法ノ定メル所ニ依ッテ、今日ハ進ンデ行ッテ宜
シカラウト思ヒマス

○男爵阪谷芳郎君 幹線……
○國務大臣(元田肇君) 幹線ハアリマセヌ、只今申上テ
マシタ此法律ヲ今日解釋イタシマシタニ付テハ、爾後ノ歷
史ヲ以テ解釋シナケレバナラヌ、歴史ハドウデアアルカト云
フコトデアリマスルト、只今仰セニナツタノハ買收スルニ付
テ幹線ト云フテモ、支線モドウセ買ハナケレバナラヌト云フ
ヤウナコトデアリマシタガ、私ノ意味ハサウデアナイノデス、
其後ニ幾多ノ鐵道ヲ敷設ヲ致シテ居リマス、議會ノ協贊ヲ
經テ別々ニ一本ニ本宛架設シテ居ル、ソレガ幹線デアリモ
ノヲ國有トシテ協贊ヲ得テ、今日ニ至ッテ居ル幾多ノ例ガア
ル、ソレカラ見マスルト原則トシテ國有トスルモノデアアル、
併シ取除ケトシテハ地方ニ特殊ノ關係ノアル鐵道ハ……

地方ニ限リ特殊ノ關係アルモノハ、地方鐵道デ許スコトヲ
得ル、斯ウ云フ方針ナノデアリマス、此後モ此得ルト云フノ
デ行ケバ一向差支ナイ、一切許サヌカト云フト、サウ云フ
意味デアナイ、許スコトヲ得ル、斯ウ云フ意味デ差支ナイ、斯
ウ云フコトヲ信ジテ居ル

○男爵阪谷芳郎君 私ハ決シテ議論ヲスルノデハナイノデ
アリマス、鐵道大臣ガ鐵道國有ト云フコトニ付テノ方針ヲ、
ドウ探ッテ居ラル、カト云フ事ガ詰リ確メタイノデアリマ
ス、即チ當時ノ方針ト抵觸スルコトハナイカト云フ點ニ付
テ伺ヒタイ、要スルニ國有ト云フモノハ幹線ト云フテモ、何
所カラ何所マデガ幹線ト云フコトハ言ヒ惡イノデアリマス
ルガ、鐵道大臣ノ御考デハマア譬ヘテ例ヲ擧ゲレバ、開港場
ニ到着スル線路ハ架ケルトカト云フヤウナ、何等カ國有鐵
道トシテノ經營スベキモノニ付テノ性質ヲ、ドウ探ッテ居ラ
レルカト云フ事ガ聽キタイノデアリマス、ソレデ其御説明
ヲ聽クト國有當時ノ方針ト抵觸シテ居ルカモ知レナイ、ソ
レデ今御説明ノ如クニ其後ノ沿革ニ依ッテサウナツタト云フ
コトデゴザイマスガ、ソレデハ今鐵道大臣ガ探ッテ居ラレル

國有ノ方針ハ、幹線ノミニハ限ラス、斯ウ言ハレル、限ラス
ナラバ全部荷モ鐵道デアアルナラバ全部國有トスルト云フ考
カ、斯ウ言ッテサウデアハナイ、サウデアナイトスレバ矢張國
有トスベキモノハ、主ナルモノヲ選ブ、斯ウ云フ趣旨デアラ
ウト思ヒマスルガ、其主ナルモノハドウ云フ性質ノモノヲ
選ブト云フ考デ、此ノ國有ノ方針ヲ立ッテ居ラレルカ、既ニ
國有私有ノ二ツノ鐵道ヲ有ッテ居ル以上ハ、國家トシテ國有
トスベキモノハ先ツ此モノニ限ラウト云フ考ガナクテヤナ
ラス、國有當時ノ時ニハ斯ウ云フ考デアッタト云フコトハ私
ガ申述ベタ、其後少シ抵觸ガナイカ、百四十九本ニ付テ抵觸
ガナイカト云フタラ、抵觸ハアルカモ知レナイイガ、ソレハ其
後ノ沿革デ變々ト云フ大臣ノ御説明デアリマスルカラ、其
コトハ私ハソレデ承ハスル、而シテ現在斯ウ云フモノハ
國有トスル自分ハ考デ居ルノダト云フ其モノガデス、例ヘ
バ今言ッテ如クニ開港場ニ到着スルモノトカ、何トカ云フヤ
ウナモノハ、何所マデモ國有トスルト云フ觀念ヲ有ッテ居ラ
レルカト云フ點ガ、所謂方針トシテ伺ッテ置キタイノデス

○國務大臣(元田肇君) 大體ノ方針ハ交通機關ハ國有ト致
シタイノデアリマスガ、ナカノ多數ノコトデアリマスル
カラ、要スルニ此完成ヲ見ルコトガ出來マセヌ、ソコデ此地
方ノ交通ヲ目的トスルモノニアリテハ、地方鐵道トシテ敷
設ヲ免許イタシマシテ、速ニ鐵道網ノ完成ヲシテ、運輸交通
ニ差支ヘヌヤウニ致シタイ、斯ウ思フノデアリマス、原則ト
致シマシテハ何處マデモ國有鐵道ニスルト云フコトヲ原則
ト致シテ居ルノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 荷モ鐵道ハ皆國有ニシタイト云フ意味
デスカ
○國務大臣(元田肇君) 原則ハサウシナケレバナラス
○男爵阪谷芳郎君 全部……
○國務大臣(元田肇君) 法ガサウナツテ居ルカラ、サウシナ
ケレバナラス、法ヲ改正スルマデハ……
○男爵阪谷芳郎君 私設鐵道ト云フモノガアルノハ、ドウ
デスカ

○國務大臣(元田肇君) サウデアリマスルカラ、一地方ノ
交通ヲ目的トスルモノニアリテハ、地方鐵道トシテ其敷設
ヲ免許スルコトヲ得ルノデアリマス、免許スルコトヲ得ル
ト云フコト、地方鐵道ノ補助等モ與ヘテ拵ヘルコトニナツテ
居ルノデアリマスルカラ、是ハ鐵道網ノ完成ヲ急グ爲ニ致
シタノデアリマス、今日ノ所デドツテ取ルカ、片方ニ限ル
カドウカト云フト、國有ノミニ限ッテ居リマセヌ、地方鐵道
ト並ビ行クコトニナツテ居リマス、原則ハドウカト云フト、
國有トスルト云フコトガ原則デアリマス

○內田嘉吉君 私ハ只今阪谷男カラ御質問ノアリマシタ點
ニ付テ、鐵道大臣ノ御答ヘニ關シマシテ、チヨット伺ヒラ
シタイノデアリマス、明治三十九年ニ鐵道國有法ガ制定ニ
ナリマシタ、總テ鐵道ハ國ノ所有トスルト云フ原則ガマア前
ニ制定セラレマシタガ、而シテ此ノ國ノ所有トシテ政府ガ
鐵道ヲ建設イタシマスニハ、明治二十五年ニ所謂鐵道敷設
法ガ制定セラレマシテ、ソレニ依テ鐵道ヲ建設シテ居ッタ、
而シテ鐵道國有法ノ解釋如何ニ拘ラス、政府ニ於テハ一
地方ノ交通ヲ目的トスルモノマデモ建設ヲ實施シテ居ル、斯
ウ云フ御話デアリマシタ、ソコデ私ハ疑フ起シマスルハ、左
様ナ鐵道ハ一々鐵道敷設法ニ改正ヲ加ヘテ御實施ニナツ
ノデアアルカ、即チ鐵道敷設法ニ依テ、之ニ改正ヲ加ヘテ建設
セラレルコトニナツタノデアアルカ、私ガ承知致シテ居リマ
ス、サウシテ鐵道ヲ敷設セラレタ例モアルヤウニ覺エテ居
リマス、ソコデ私ガ伺ヒタイハ、只今此鐵道國有法ガ制定
ニナツタ以後ニ於テ、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道モ、多
ク政府ニ於テ建設ヲシタト斯ウ云フ御話デアリマシタガ、
ソレハ一々鐵道敷設法ニ改正ヲ加ヘテ、之ヲ建設スルコト
ニナツタノデアアルカ、或ハ是ハ豫算ノ協贊ヲ得ルニ止ッテ居
タノデアアルカ、其點ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(元田肇君) 是ハ御答ヲ申上ガル迄モナク御承
知ノ通りデ、豫算ノ形式ニ依テシタノモノ、其中ニ幾ラカアリ
マス

○內田嘉吉君 サウ致シマスルト、其結論トシテハ、一地方
ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ、從前鐵道敷設法ニ依テ設定シ
タノデアハナイ、斯ウ云フコトデアリマスルカラ、今度ハ將來ニ
於テハ此御方針ヲ御變ニナツテ、今回ノ鐵道網ト稱スル所ニ
御提案ニナツタ鐵道敷設法ニ於テ、一地方ノ交通ヲ目的トス
ルモノヲモ併セテ此鐵道網ノ中ニ規定スル、即チ前ノ方針
ト今度ノ方針ハ方針ヲ變ヘタ、斯ウ云フ結果ニナリマスガ、
○政府委員(石丸重美君) privati御答致シマスガ、此敷設法
ノ別表ニナツテ居リマスルハ、是ハ網ヲ示シテ居ルノデアリ
マス、此網ナルモノハ地方鐵道ノ性質ヲ帶ビテ居リマスモ
ノモ、又幹線ノ役ヲ爲スモノモ總テ含ンデ居ル積リデアリ
マス、今迄敷設法ニ載セテ出シマシタモノハ、總テ本鐵道ト
云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレデ今回ノ本鐵
道、輕便ト云フヤウナコトヲ申シマセズシテ、總テ鐵道ト云
フコトニ致シタノデアリマス、而シテ今迄ハ輕便線ヲ政府
ガ造リマスニ付テハ、是ハ輕便鐵道ト云フ一ツノ目ノ下ニ、
豫算ヲ以テ、協贊ヲ經マシテ致シタ次第デ、是ハ現行ノ敷設
法ノ中ニハ入レナイ、然レ此ノ地方鐵道法案ト云フモノガ
出來マシテカラ、輕便鐵道、私設鐵道ト云フモノヲ、名稱ヲ
廢シマシテ、總テ地方鐵道ト云フコトニ致シマシタ、其中ニ

貴族院鐵道敷設法案特別委員會會議事速記録第十號 大正十一年三月一日

五

ハ輕便デアリマセウガ、又本鐵道デアリマセウガ、地方ノ運輸ノ目的ヲ爲スモノヲ、總テ地方鐵道ノ中ニ入レマシタ次第デアリマス、サウシテ現今鐵道省ガ實際採リ來テ居リマス所ノ、其ノ地方鐵道ナルモノモ、矢張鐵道省ニ於テ國有トイタシテ經營シテ居ルモノガアル、ソレハ此間モ申上ゲマシタ通り、有馬輕便ダトカ、ソレカラ本會ノ政府ガ買収イタルマシタ輕便、若クハ地方鐵道ヲ買収イタシマシテ、サウシテ國ノ有ト致シテ經營イタシテ、尙ホ又他ニモサウ云フ線路ハ多クアルノデアリマス、是等モ亦國有トスルノデアリマス、ソレヲ鐵道省トシテ原則ト致シマシテ、此ノ國有法第一條ニ依リマシテ、鐵道ヲ取扱テ居ル次第デアリマス

○男爵阪谷芳郎君 クドイヤウデアリマス、ケレドモ、是ハ國政ノ上デハ大事ノコトト思ヒマス、能ク明カニシテ置キタイト思ヒマス、昔ノ話ヲスルヤウデアリマス、ケレドモ、此鐵道局、鐵道廳、鐵道省ト色、沿革ヲ經テ居リマスカラ、當局ノ頭ノ中ニ知ラズ識ラズ混同シテ居ルコトガ生ジテ來テ居ルト思ハレル、併ナガラ國政ノ上カラハ鐵道ト云モノハ政府ノ鐵道バカリデハナイト云フコトヲ始終眼中ニ置カケレバナラス、要スルニ、鐵道ト云フモノハ、即チ私設鐵道モアレバ官設鐵道モアル、又私設鐵道ノ中ニハ色々ノ種類ガアリマセウ、ソコデ始終日本ノ既往五十年ノ歴史ノ上ニ於テ、此鐵道ノ監督上ノ問題ノ起リタノハ、鐵道局ガ自分ノ官設鐵道ヲ持テ居リナガラ、私設鐵道ヲ監督スルト云フコトガ、不公平ニナルト云フ苦情ノ起リタ時代ガアツテ、ソレデゾレガ爲ニ鐵道局ガ一時逋信省ノ中ニ入ッテ居テ、ソレデ官設鐵道ハ、官設鐵道ノミヲ特別ニ取扱ヒ、鐵道ノ政治ト云フモノハ逋信省ノ鐵道局デヤルト云フコトモアラバヤウデアリマスガ、併ナガラ自ラソコニ私設鐵道、官設鐵道ト云フモノハ始終區別シテ經營シ來タ、三十九年ニ國有鐵道トナリ、矢張其當時ニ於テモ官設鐵道、私設鐵道ト云フモノハ自ラ分界ヲ明カニシテ來タノデアリマスガ、段々大キクナツテ鐵道省ガ出來テ見ルト、鐵道省ノ中ニ矢張官設モ私設モ皆這入ッテ仕舞ッタ譯ニナルノデ、ソコニナツテ來ルト當局者ノ御考ハ、皆何モカモ國有ニシテ仕舞ヘバ簡單デハナイカト云フコトニ、モノガ驅ラレテ行キハシナイカト云フコトヲ私ハ心配スル、ソレガ爲ニ遂ニ國有當時ノ方針ト云フモノノ系統ガ不備ニナツテ來ハシナイカト云フモノノ今考ヘテ居ル所デハ、國有鐵道ト云フモノト私設鐵道ト云フモノノハ、ド迄モ併立シテ行ッテ、日本ノ鐵道ヲ完成スベキ方針ヲ從來政府ガ取ッテ居ル、斯ウ思フテ居ル、ソレ故ニ此度ノ鐵道敷設法モ、矢張り前ノ鐵道敷設法ヲ段々ニ修正シテ、改正シテ行クニ止マルモノト斯ウ思フテ居ル、之ガ爲

ニ國有當時ノ方針ガ全ク滅却サレテシマフト云フ意味デハアルマイト思フ、サウスルト官設トシテ經營スベキ國有鐵道ト云フモノニハ、自ラ範圍ガナクテハナラス、サウシテ私設鐵道ト云フモノハ別ニ範圍ガアルベキモノデアラウト斯ウ思フ、ソレデアリマス、網ヲ作ル作ルト云フ今次官ノ御話デアリマスガ、此網ト云フモノガ過日御話シタ私設鐵道マデ含ンダモノデハナイ、詰リ國有鐵道ノ網デアアル、斯ウ御説明ガアリマシタカラ、本員ハ鐵道敷設法ト云フモノハ、此ノ國有鐵道敷設法ト云フ此法案デアラウ、私設鐵道ニ屬スル網ト云フモノハ、マダ此外ニ段々擴ゲテ行ケバ幾ラモアル、斯ウ云フコトニ解シテ居ル、ソレカラ茲ニ論ズベキモノハ、是等ノ百四十九本ト云フモノガ、國有ニ屬スベキモノカドウカト云フコトガ議論トナレバナル、政府ニ於テハ之ヲ國有トシテ出シテ居ラル、ト云フノデアアルカラ、其方針ニ概シテ居ルノガ、ドウナツテ居ルカト云フコトヲ、今朝伺ッテ居アル、所ガ今次官ノ言ハレルニハ、此中ニハ私設ニ許シテアルモノモ澤山アルト云フ御話デアルト、先日御話ノ私設鐵道ヲ包含シタモノデナイト云フ御話トハ變テ居ル、又私設鐵道トシテ許シテ居ルモノガ幾ラモ有ルト云フコトニナルト、國有鐵道ト云フモノヲドノ限度ニ置カ、幹線ダケト云フコトニナルノカ、不明瞭ナコトニナル、是ダケハ必要ナ幹線デアアルカラ國有トシテ、是ハ私設ニ許ス、ソレデ國家ノ目カラ見レバ齊シク鐵道デアアルカラ、官私併セテ國家ガ經營スル、是ハ既往五十年取リ來タ方針ニ變リハナイノデアラウ、斯ウ思フ、軌道ヲ敷イタモノハ一本モ殘ラズ政府ガ國有ニスルト、私設ト云フモノハ無クナツテシマアル、サウデハアルマイ、サウ云フ意味デ本員ハ御尋シタノデアアル、次官ノ今ノ御答デ見ルト、國有ト云フモノノ限度ガドウデアアルカト云フコトガ少シ曖昧ニナル、ソレヲ伺ッテ見タイ

○政府委員(石丸重美君) 是ハ此前ニモチヨット私申上ゲマシタヤウニ思ヒマスガ、此網ナルモノハ將來日本ノ内地ニ於キマシテ、鐵道網トシテ殘ルベキ最少イ數ノ網ヲ示シタノデ、ソレデ其中ニ於テ私設ガ若シ出願イタシマスレバ許シマシテ、サウシテ原則ト致シマシテハ將來ソレヲ買フ、サウシテ矢張國ノ有トシテ之ヲ整理スルト云フヤウニ致シタイヤウニ思フノデアリマス、ソレデ私等ハ、今阪谷男ハ色々此ノ國有ノ履歷ヲ詳シク御述べ下サイマシタガ、三十九年ニ出來マシタ此ノ國有法ノ第一條ニ依テ、原則ト致シマシテ、此鐵道ハ國ガ持ツ事、若シ極端ナ事ガ出來ルナラバ總テ内地ノ鐵道ハ國ガ所有イタシマシテ、之ヲ一體ニ取扱ッテ行クト云フノガ、是ガ極端ナ國有ダラウト思フ、併ナガラ事實ニ於テハ經濟モ許シマス、實際ニ於テ出來ル譯ハナイカラ、地方鐵道ノ出願イタシマシタモノハ之ヲ私設ニ許シマシテ、又其鐵道ノ段々延ビタリ枝ヲ出シタリシテ、大キク鐵道ニモナリマシタナラバ、ソレハ又國ノ經濟ガ許ス時ニハソレヲ買ヒマシテ、國ガ世話ヲ致スト云フヤウニ致スノガ、國有鐵道ノ一ノ信條ダラウト思フ、其道行キニ於キマシテハ、國ガ悉ク之ヲ作ルト云フコトハ、力モ無イカラ、出來ルダケ早ク官私兩方デ作り上ゲル、サウシテ所謂日本ノ鐵道網ト云フモノハ完成スル、其鐵道網ヲ完成スルニ於テハ、無論既ニ出來テ居ル既成線モ、又將來作りマスル此網ニ載ッテ居リマセヌ線デ、將來出テ參リマスモノモ一緒ニ致シマシテ、サウシテ完全ナ案ヲ作ルト云フコトニナルダラウト思フノデアリマス、之ヲ約メテ申上ゲマスト云フ、今大臣モ先刻仰セラレタ如ク、約メテ申シマスレバ三十九年ノ國有法第一條ニ依テ、原則トシテ總テノ鐵道ヲ國ガ持ツ、交通幹線デアラウガ、或ハ地方的ノモノデアラウガ、總テ國ガ持ツ、併シ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノハ此限ニアラズト云フコトニ於テ、地方鐵道ノ施設ヲ許ス、斯ウ私共ハ解釋イタシテ居ル譯デアリマス

○内田嘉吉君 チヨット先キノ續キデアリマスガ、私ハ先程御質問申上ゲマシテ御答ヲ得マシタガ、簡單明瞭ニ方針ガ變ッテ云フ御答ガナカッタノデアリマスガ、併シ兎ニ角其御話ヲ伺ヒマシテ、從前ノ鐵道敷設法ト今回ノ鐵道敷設法トノ間ニ、相違ノアルコトハ明瞭デアラウト思フ、デアリマス、而シテ御説明ノアリマシタヤウニ幹線……一般ノ運輸交通ニ使用スルモノト、又一地方ノ運輸交通ニ使用スルモノト併セテ含ンデ居ルト云フコトデアリマス、國有法ノ第一條ノ解釋ハ、或ハ政府ト我々委員トノ間ニ見解ガ異ナツテ居ルカモ知レマセヌガ、阪谷男爵モ續々御述べニナツタヤウニ、兎ニ角政府ハ幹線ヲ敷設スルト云フ、一地方ノモノモ政府ノ手ニ收メナイトモ云ヒマセヌガ、原則トシテハ、矢張一般ノ運輸交通ニ使用スルモノデアルト云フコトハ、ドウモ是ハ何レニ但書ヲ解釋イタシマシテモ、疑ヒハ無イコトデアラウト思フ、ソコデ從前ノ鐵道國有法ノ前ニ制定セラレマシタ、鐵道敷設法ハ、私共モ政府ニ於テノ御見解ノ如ク、矢張幹線ヲ規定シタモノデアルト認メスルノデアリマス、ソコデ只今ノ御説明ノ結果ヨリ疑ヲ起シマスルノハ、今回ハ網デアアル、網デアアルガ故ニ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道モ此中ニ包含シテ居ル、而モサウシテ政府ガ敷設スル、財政ガ許セバ皆國有トシテ政府ガ敷設スベキモノデアルト云フコトハ、是ハ既ニ但書ニ於テ差支ナイコト認メテ居ル、或ハ之ヲ狹ク解釋イタシマス、一地方ノ交通ヲ目的トスルヤウナモノヲ、政府ガ所有スルモノデアナイト云フ、或ハ見解モ出ルヤウデアリマス、何レニ致シマシテモ、國有ノ趣意

ガ少シ變テ來タカノヤウニ考ヘマスガ、果シテ一步政府ノ御見解ニ從フモノトシテ解釋イタシマシテモ、此百四十九線ノ一地方ノ交通ヲ目的トスルモノ中、足ラヌダラウト思フノデアリマス、サウ云フ場合ニハ寧ロ御調ベニナリナラバ、八百何線ト云フモノノ可能ナルモノハ、悉ク此中へ列舉シテ、サウシテ網モット緻密ニ編成セラレタガ確カデハナイカ、私ガ只今鐵道大臣鐵道次官ノ御話ヲ結論トシテ自分デ考ヘテ見マスルト、總テノ鐵道ハ國ノ所有デアアルベキモノデアアル、サウ致シマス、其網モット密ニシテ、八百何線ヲ悉ク之ヲ網ニ御編入ニナルコトガ、寧ロ其議論カラ見ルト適當デアアルヤウデゴザイマスガ、其點ニ付テノ見込ハ如何デアリマスカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(石丸重美君) 是ハ無論内田サンノ仰セノ如ク網ヲ十分ニ完成イタスト云フコトニ付キマシテハ、マダ線路ガ多クアルト思ヒマス、其中デ既ニモウ出來上リマシテ居ルモノガ、御承知ノ如ク四千哩アルノデアリマス、ソレカラシテ其中カラ約百四十九線ヲ選ビマシテ、其八百何線ノ中、後ト殘リハ三百三十何本ト云フ位シカアリマセヌガ、其殘リマシタモノハ之ヲ網トシテ舉ゲルノニハ、少シ不備シテ居ルト云フヤウナモノガ、皆殘サレテ居リマスノデ、サウシテマダ調査イタシマセヌ線路ニ於キマシテ、將來網トシテ爲スベキモノガマダ多クアラウト思ヒマス、併シ是ハ當局ニ於キマシテモマダ手ガ届キマセズ、調査ガ濟ンデ居ラナイ、是ハ矢張鐵道省ト致シマシテハ、絶エズ此調査ヲ進メテ參リマス積リニ致シテ居リマス、御覽ノ如ク此參謀本部ノ圖デ見マスレバ、單ニ圖上デ見マスレバ、マダ網ヲモット密ニ致シタイ、丁度此間御參考ニ差上ゲマシタ、外國ノ網ニ似寄ッタモノニ致シタイ考ハアリマスガ、マダソレマデ手ガ届キマセヌ、要スルニ内田サンノ仰セノ如ク出來レバ誠ニソレヲ早ク致シマスガ、併シ最初カラ完全ナ網ヲ唯引キマシテ、サウシテ測量モ致シマセヌモノヲ、唯網ノ形ニ於テ致スト云フコトハ出來マセヌカラ、ソレデ一通リ其線路トシテ調べマシタ確信ノアルモノヲ選ッテ出シタ次第デアリマス

○山之内一次君 先刻カラ鐵道國有法ノ精神ニ付テノ御議論ガアルヤウデゴザイマスガ、私モ當時鐵道國有法ノ出來マシタ時分ノ關係者ノ一人デアリマスガ、私ノ考ヲフチヨット御參考ニ申上ゲテ置ク方宜シト、又申上ゲヌデハ居ラレナイ心持ガ致シマスルカラ一ツ申上ゲタイノデアリマスガ、阪谷男爵ハ當時ノ國有法ノ出來マスル時分ハ大藏次官デアラセラレマシテ、其後愈、是ガ議會ニ懸カル時分ニハ、大藏大臣ヲシテ居ラレタノデアリマス、私ハ逡信省ノ一屬僚デアリマシタカラ、或ハ廟議デ如何ニ解釋ガ出來タノカ

ソコハ知りマセヌデスガ、實ハ此法案ハ私ガ立案シタノデアリマス、此法律ヲ制定シタ時ノ心持ヲ御參考ニ申上ゲテ置ク方宜シト思ヒマス、之ヲ制定イタシマシタ時ノ趣意ハ、全ク鐵道ト云フモノハ國家ガ所有スルト云フ原則ニ拵ヘタイト云フノガ初メノ趣意デアッタノデアリマス、ケレドモ一體法律ハ必ズシモ初メ立法シタモノガ考ヘタ通り、出來上ツタ後ニ解釋ガ出來ルカドウカ、ソレハ必ズシモサウ一概ニハ申サレマセヌケレドモ、兎ニ角私ガ此筆ヲ執リマシテ之ヲ立案イタシマシタ時ノ趣意ハ全クサウデアッタノデアリマス、其證據ニハ現ニ議會ニ懸ケマシタ線ト云フモノハ、國有法ニ擧ゲテアルアノ線路ダケハナカッタノデアリマス、是ハ阪谷男爵モ必ズ御承知ダラウト思ヒマス、勿論御記憶デナケレバナラヌト思ヒマスガ、而モ阪谷男爵ハ大藏次官デ在ラセラル時分ニハ、大藏次官トソレカラ私ソレカラ又主計局長ガ寄ッテ議論ヲ闘ハシタノデアリマス、其精神ハ十分ニ御分リニナッテ居ルコト、實ハ思ッテ居タノデアリマスガ、其初メハマダ澤山殆ド先ヅ總テト云フ譯デアリマセヌデシタガ、先ヅ鐵道ト云フヤウナ鐵道ハ、殆ド總テ是ハ這入ッテ居ッタノデアリマスガ、其當時カラ今ノ第一條ノ「一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トシ但シ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フノハ其儘ノ文句ナラシメ、只之ヲ盡クヤルト云フコトニ付テハ色々反對ガアリマシタ、サウシテ先ヅ其中ノ主ナル線ダケニ議會デ修正ニナリマシタノデアリマス、修正ヲ致シマシタガ、詰リ第一條ノ法文ニハ變リハナイノデアリマス、只今政府ガ初メ制定シタ時ノ趣意ハ其儘ニ認メテ、サウシテ唯線路ノ修正ヲシタダケニナッテ居ルノデアリマス、又私ガ立法ヲ致シマス當時カラ考ヘテ居リマシタノハ、各國ノ鐵道ノ歴史ヤナシカカラ相當ニ調ライタシマシタノデアリマセヌガ、一體鐵道ソレ自身ガ何レノ國デモ、原則トシテハ國家ガ持ツベキモノト、元來出來テ居ルヤウニ思フノデアリマセヌ、ソレニ特殊ノ特許權ト云フモノヲ與ヘテ、而モ特許ヲ與ヘルノニハ非常ニ嚴重ナ方法ヲ以テ特許ヲ與ヘテ、サウシテ許スト云フコトニナッテ居ル、許シマスルニ付マシテモ、大抵ノ國ノ鐵道ニハ國家ノ買戻權ト云フモノガ必ズ附イテ居ル、ソレ等ノ關係カラ見マシテモ、鐵道ト云フモノハ國家ガ持ツベキモノデアルト云フコトヲ、我ハ深ク信ジテ居リマシテ、ソレデ日本ハ殊ニ外國ナドカラ云フコト後進ノ國デアラシ、大ニ種々産業上、或ハ兵備上非常ナ奮發ヲシナケレバナラヌト云フ考ヲ有チマシテ、寧ロ其ノ本當ノ何所ノ國デモ精神デアアル所ヲ實行シテ行キタイト云フノデ、總テ鐵道ハ國家ガ所有スルト云フコトヲ原則ニ致シタノデアアル、併シ一地方ノ交通ノモノダケハ……幹線ハ國家ガ必ズ有ツ

ノデアアルガ、一地方ノ交通ヲ目的トスルモノダケハ、必シモ國家ガ有ツコトニセヌデモ宜カラウ、ソレハ又財政ノ關係ヤ何カ、時ノ都合ニ依ルモノデ、其方ガ發達ノ上ニ却テ宜カラウト云フノデ、アノ但書ヲ殘シテ、極ク詰ラスモノダケハ其儘ニ致シテ置カウト云フコトニナリ、大體ハ國家ガ總テ有ツト云フコトガモウ其時ノ原則ニナッテ居ッタ、現ニ御話ノヤウナ幹線ダケハナカッタノデ、其出シタ線路ト云フモノハ議會ガ修正シテ一部分ニシタ、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ此沿革モ御承知デアリマセウト思ヒマスカラ、私ハ阪谷サンノ今御話ノ御説ハ少シ間違デナカラウカ、甚ダ私ガ當時ノ屬僚トシテ其時ノ立法ノコトヲ申上ゲテ相濟ミマセヌケレドモ、唯是ガ元ノ立法ト違ヒハセヌカドウカト云フノガ、今ノ質問ニ付テ大變主モナ簡條ノヤウデアリマスカラ、チヨットソレダケ述ベテ置キマ

○男爵阪谷芳郎君 昔話デ甚ダ恐入リマス、丁度山之内君カラ御話ニナリマシタヤウニ、大藏省、逡信省、兩省ノ協議ガアリマシタ時分ニ、矢張問題ハ幹線ニ限ルヲスガ、喧マシイ問題デアリマシク、ソレデ一時十七線ノ國有鐵道ハ十七線ト云フコトニ限ラウト云フコトニ大藏省ノ方デハナッテ、内閣ノ議モソレニ決ッテ居リマシタ、所ガ關係ノ一人タル加藤外務大臣ガ鐵道國有ニ御反對デアルト云フコトデ、辭表ヲ提出サレテ、當時ノ内閣ノ運命ガ殆ド危クナリマシタ、旁々國有法ヲトウシテモ通過スルニ容易ナル途ヲ求メナケレバナラヌ、ソレニハドウシテモ反對ノナイヤウニト云フコトデ、今山之内君ノ言ハレルヤウニ、當時其國有ヲ希望シテ居リマシタノハ、謂ハバ地方鐵道ノ餘リ儲ラヌ線ガ、非常ニ國有ノ運動ヲシテ居ッタノデアリマス、ソレガ何デモ總體八百万圓位アツタ、買收價格ニ於テ八百万圓、ソレヲ加ヘテ國會ニ提出ニナリマシタ、所ガ衆議院ハソレデ通過イタシマシタガ、貴族院ニ於テハ鐵道ノ國有ニ御反對ト云フコトデ、非常ニ政局ガ混亂ヲ來シタ、デ色々交渉ノ結果貴族院ハ政府ガモト考ヘテ居ラレタト云フ、其十七線ニ限ルト云フコトナラバ折合ハウト云フコトニナリマシテ、貴族院ニ於テハ後トカラ政府ノ考デ加ヘマシタ、所謂其當時カラ見レバ地方線ト申シマスガ、ソレヲ買收價格約八百万圓餘ト考ヘテ居リマスガ、ソレダケノモノヲ悉ク削ラレマシテ、單ニ十七線トシテ衆議院ノ方ト御協議ニナリ、衆議院モソレニ同意スルト云フコトデ、國有鐵道ハ、成立チマシタ、ソレデ當局ノ方ノ當時ノ考デハ、ドウシテモ鐵道ノ經營ノ缺陷ガアツタハナラヌ、斯ウ云フ意味デ爾來始終鐵道ノ固有ノ方針ハ主ナル幹線ニ限ルト云フ意味ヲ考ノ中ニ入レテ居ッタ

デアリマス、敢テ山之内君ノ御考ガ決シテ誤ラテ居ルト云フ意味デアリマセヌ、山之内君ガ當時ノ擔任ノ官吏トシテ筆ヲ執ラレマシク御精神モサウデアリマスシ、法文モ今殘ラテ居ルコトデアリマス、併シ其但書ハ矢張私設モ許スト云フ意味ヲ、私ノ役人ヲシテ居ル間ニモ、始終考ニ有ツテ居ツタ譯デアリマス、只私ノ問ハ今日ニ於テモ能ク現政府ノ御考ヲ明カニシテ置イタ方ガ、將來鐵道ノ經營上ニ於テモ、又此問題ヲ議スル進行ノ上ニ於テモ便利デアラウト思フ、其考ヲ確メルニ止メタノデアリマス、チヨット昔ノ話ガ出マシクカラ、説明ノ爲ニ一言附加ヘテ置キマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 本日は是デ散會イタシマス、明日ハ午前十時ニ開會イタシマス
午後零時七分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 子爵大河内 正敏君
委員

子爵酒井 忠亮君
子爵野村 益三君
子爵蒔田 廣城君
男爵山根 武亮君
和田 彦次郎君
内田 嘉吉君
男爵阪谷 芳郎君
中村 是公君
男爵斯波 忠三郎君
男爵黒田 長和君
男爵藤堂 高成君
山之内 一次君

國務大臣 鐵道大臣 元田 肇君
政府委員

鐵道次官 石丸 重美君
鐵道省監督局長 井出 繁三郎君
鐵道省運輸局長 中川 正左君
鐵道省建設局長 大村 鮎太郎君
鐵道省工務局長 岡野 昇君
鐵道省工務局長 高洲 清二君
鐵道省經理局長 別府 丑太郎君
鐵道省參事官 木下 謙次郎君